

事 件	現 況
2. 三越出身の榎山純三、大阪市内で運動用品の輸入卸榎山商店を創業。／1938（昭和13）年には、スポーツウェアの最大手となる。／1988年、オンワード樫山と改称。[日本会社史総覧] 4. 日本女子大学の新学制——大学昇格の文部省よりの認可が遅れているため、とりあえず4月からは専門学校例の枠内で、実質上は大学と同レベルの教育を施すこととなった。[東京朝日4/12(11)] 4. 東京日本橋の三越呉服店本店7階に、男性のための理髪部と、女性のための美容部が新設された。[国民4/12(夕2)] 4.29 大日本連合女子青年団創立。山脇房子理事長による創立宣言書が発表される。これにより全国に130万	1. モダンガールとは如何なる女性か（洋装・整容）——“一体モダンガールとは如何なる女性であるかと申しますと、次の数箇条をその存在の必要条件としているそうです。第1、断髪乃至耳隠し、第2、洋装、第3、脂粉の香の漂うこと、第4、その月の『文藝春秋』を持ちまたフランス語で書いた小説とフランス語独習書を手にする事、そして人前ではフランス語の小説を繙き、人のいない処ではフランス語独習書を繙くこと”。[陶山務「マドンナとモダンガール」、婦女1/9(18)] 1. 婦人結髪業生徒募集（東京整容学院）の地方新聞広告例（伊勢・鹿児島・山形）（整容）——“男子よりも収入多き女かみゆい美髪術師”。[山形1/30(4)] 1. 今春夏の流行（和装・洋装・春・夏）——各デパートが発表した「昭和2年春夏向流行について」と標準色 標準色としては、草の芽、金珊瑚、露草、花すすき、山葡萄の5色が選ばれた。[国民1/11(5)] 2. 半襟の好みの変化（和装）——“近頃、半襟というものに対する人々の好みが非常に難しくなってきました。以前は半襟そのもののみを切りはなして、色目がよければ、刺繍模様が気に入れば、それで結構という風でしたが、この頃では全体の服飾の上から総体的に見て、他との調和をとりながら、半襟そのものの美がくっきりとはえなければならないという風に考えられて来て、従って半襟そのものの色や模様では承知しなくなってきました。こうした傾向の結果、贅沢なというよりも少し衣裳に凝る人は、その着物一枚一枚によって半襟が違うというまでになっています”。[都2/15(11)] 2. 少女のオカッパの色々（整容・子ども）——“近頃、小さなお嬢ちゃん方のお髪という、殆どおかっぱさん、ハイカラな言葉でいうとパッツヘーヤです。まことに可愛いものですが……”。[都2/19(11)]*図 2. 雨後の筍のような洋裁学校——“震災後は婦人の授産教育が盛んになったのをいい事に、裁縫女学校が出来ること出来ること、さながら雨後の筍の如くだが、それが本当に学校らしい教育をするのなら兎も角、多くは学校とは名のみの、生徒実は態のいい女工からあべこべに月謝を徴して工場を経営すると云った営利的な所謂学校屋が多い”。[都2/19(11)] 2. 子どもの通学服（洋装・子ども）——“男児服は従来の立襟金ボタン服は発育上おもしろくないというので、今春は背広型の折襟であって、子供服らしい可愛らしさを現しているものがふえてきた。また‘折立ちカラー’と呼ぶやわらかい詰襟でカラーが折襟になったのも多くなった。……なぜか日本の子どもは小学校に通うようになると水兵服を着なくなる。……今春の女兒服は皮肉な見方をすれば流行の種切れの結果であろう”。[東京日日2/27(5)] 2. 東京の道路（洋装・履物）——“きたないきたない泥沼の八百八街、お互いに市民ながら愛想が尽きるじゃないか。……モダン・ガールの細い靴がガマ蛙のようになった。モダン・ボーイのだぶだぶのズボンが土管のようになった。……数日來の我が東京の風景です”。[東京朝日2/27(11)] 3. 映画館の座席——“どこへ行っても聞かされる不平は映画館の座席のお粗末さである。行ったからにはプログラム全部を見たいし、見るとなる



お嬢ちゃんの髪
『都新聞』1927（昭和2）年2月19日（11）

事 件	現 況
人の会員を擁する処女会は発展解消。[東京朝日4/29(2)] 4. 東京女子服装美術学校が、元新宿園跡に設立。高等女学校卒業生を2カ年で婦人洋服裁縫師に養成するのが目的と。[婦人文化4月] 5.5 東京で公演中のロシア歌劇団の女優レルマ嬢（26歳）が、青山のクリーニング店に高価なショールを台なしにされたと、弁償を求めて日比谷署に訴え出た。このショールは同嬢が来日早々神戸で50円で購入した夜会用の高級品だが、大丈夫と保証して引き受けた青山南町の秋山洗濯店が、二目と見られない浸みだらけにしてしまったというもの。洗濯店の間室明（25歳）は弁償の要求に対しては、わざとしたわけではないのだから、かんべん願いますと謝るばかり。結局署員の仲裁で20円の弁償ということで決着がついた。[時事新報5/6(11)] 5.9 内務省警保局は各県警察署に通牒を発し、風紀を紊すような者に対しては徹底的に取締るよう、殊に暑さに向かって、異性の心をそそるような服装などについて注意を払うように指示した。“震災後から外国かぶれの蓮っ葉娘やカフェーの女給等で肌も露わな薄物を纏って異性を誘惑する者が急激に増加したので、警視庁では昨年薄物取締令をだして、いやしくも肉体が素通しに外部に見えるような衣類は絶対に許可しないことにはなったが……此際取締りを徹底させようというのである”。[読売5/10(7)] 6.21 美容術営業取締規則施行——これまでは届出だけで済んだ理髪、結髪、および関連業種が許可制となる。最近非常に殖えてきた美顔術業者の中には風紀を乱す仲介をするものがあり、また染毛業者、癖直し業者など、周辺業者も自由営業をおこなっているの、これら全体を取締るための法規を作る	と足腰の痛さを我慢しなければならない。それも時間の都合では立ち通しと覚悟しなければならない「ファンたるもまた難いかな」の歎声は相当スポーツでもやった青年からさえ漏れる位だ”。[東京日日3/4(6)] 3. 春の洋服（洋装・春）——“一つボタンで生地は薄い紺が中心”。[東京日日3/14(5)] 3. 装身具のデザイン（最近の変わり方）（副装品）——帯止め、指輪などでの宝石の使い方。[東京日日3/14(5)] 3. はやりのショール（副装品）——“春のショールは人絹レース織も本年は舶来に劣らない優秀なものもありますが、ジョーゼット、クレープが全盛です”。[報知3/16(8)] 3. 婦人の髪形はどう変わるか（日本髪は必ず廃る）（整容）——“日本髪は特殊の場合、特殊の人にのみ影を残してある所までおとろえると思えます。それに代わるに東髪が発達し勢いは断髪の流行まで行くかと予想されます。なぜならば従来の日本髪はその型によって人の階級を差別したり職業まで区別されています。平等解放といった思潮が婦人界に流れ込みつつある現代はそうした階級意識の濃厚な型は容れられないのです。……束髪はどういう形に発達して行くかと申せばあまり大形のものとは現代の服装にそぐわないから好まれず、全体が小さく結ばれたものであって、まげはなくなって行くであろう。小さく結ばれた形は智的に見えるから、智的欲望の盛んな若い婦人達の気持にぴったり合っているわけであります”。[三須裕、報知3/19(8)] 3. 進歩した人絹製品（和装・洋装）——“近年著しい勢力をもって突入してきたのがレイヨン即ち人絹であります。今日世界で人絹製造の会社は80余社あり、米国が第1位で世界の1年間の生産高2億ポンドのうち8,000万ポンドは米国から産せられ、我国は製造会社が4社、生産額は1,000万ポンドまでこぎつけました。その応用も年々拡げられて、この頃では衣服類では裾模様から着尺もの、小紋、お召、錦紗ちりめん、シャルムーズ、ちりめんの友禅もの、丸帯、片側帯、半襟その他、……また靴下やネクタイ、シャツなどの雑貨類まで、この頃では舶来品をしのぐものがどしどし日本でつくられて来ました。原料からいうともっともっと安く売ってもいいそうですが、それでも今日メリンスとほぼ匹敵する価格で、純絹なら100円前後する黒ちりめんの裾模様が僅か27、8円で買える訳です。その割合に高いのはショールですが、しかし染織技巧の優れて来たことは驚くべきで、婦人洋服地としてイヴニングなどにふさわしいものが沢山見えています”。[都3/19(11)] 4. 三越、復興開店——4日、東京日本橋三越本店、復興開店する。店員数は倉知専務以下約3,000人。うち1割は新宿分店勤務。客足の一番多い月は4月で、1日に年末の10万人を上回るが、売り上げは年末に及ばない。表玄関で履物を預かった時代には下足番が15〜60人いたが、それでも3万人以上の客を入れることはできなかったと、飯野部長談。[読売4/4(3)] 4. 下駄商が見た女性の足の変形（履物）——女物の下駄の寸法は昔から、長さ7寸2分（21.8センチ）、幅3寸5厘（9.2センチ）と決まっている。